

武漢事務所週刊ニュース (2017. 6. 3-2017. 6. 9)

2017年6月7日

武漢が外資系銀行導入プロジェクトを起動

昨日、武漢市は外資系銀行導入プロジェクトを開始した。永豊銀行、星展銀行などの外資系銀行のCEOを「江城の旅」へ招待し、外資系銀行の武漢支店設立、業務展開を推進していく。

調査団は相次いで武漢新天地、建設大道金融街、武漢CBD、保利広場、武昌金融集中区などの金融機構集中区域を視察し、武漢金融業の急速な発展を感じた。星展銀行（中国）有限公司董事会秘書である毛汨静氏は「当銀行はできるだけ早く武漢に支店を開設する予定である。」と述べた。永豊銀行、玉山銀行などのCEOも武漢に支店を出す考えがあると話した。

現在、武漢に定着した外資系銀行は既に10社（銀行系金融機構は合計38社）に達し、汇丰銀行、ソシエテ・ジェネラル銀行、東亜銀行、SCB銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、韓国中小企業銀行、台湾土地銀行、台湾中小企業銀行、富邦華一銀行であり、中部地域で第1位となる。

2017年6月8日

武漢初の地下鉄環状線が年内に着工、三鎮を貫いて36駅を建設

昨日、湖北省環境保護庁のウェブサイトから武漢地下鉄12号線環境アセスメントが初めて公示された。これは武漢初の地下鉄環状線で、武漢三鎮を貫き、全長約60キロメートルである。

12号線の始まりと終わりはいずれも武昌駅で、武昌、漢陽、硤口、江岸、江漢、青山、洪山等七つの都市中心部を貫いて、長江を2回、漢江を1回跨ぎ、36駅、駐車場2箇所、鉄道区間が1区間あり、年内に着工する予定である。

同時に工事は、武漢地下鉄6号線二期、11号線葛店方面と16号線一期の環境アセスメントの公示も行った。

6号線二期は一期工事終点の金银湖公園とドッキングし、金山大道、東吳大道を経て走馬零に向かう。9駅と駐車場1箇所を設け、全長約15キロである。

11号線葛店区間は、11号線東区間にある一期の終点左嶺から伸びており、高新大道の北側に沿って東に向かい、嚴家湖の下側を突っ切って、創業大道に葛店南駅を置き、武黄都市間鉄道葛店南駅に接続している路線で、1駅区間の長さは3.7キロメートルである。

16号線一期は、南の紗帽周家河から北の国博中心まで12駅を設け、全長約32キロである。